

同窓会から弁論部に激励金が授与されました [4月25日]

本日、5月3日に愛知県名古屋市の東海学園大講堂で開催される内閣総理大臣賞 椎尾弁匡記念杯 第71回全国高等学校弁論大会に出場する弁論部に対して、同窓会より激励金が授与されました。

昨年「豊かな学びを保証する」という演題で出場し第3位に入賞した、濱中 千春さん（平成28年度卒）に続いての快挙です。出場を決めた海野 貴之さん（2年）は、「未来への伝言」という演題で弁論をおこないます。

この大会は、全国の高校生が弁論を通じて知性と人格を涵養し、相互の理解と親睦を深める目的で、学校法人東海学園 東海高等学校が主催する伝統ある大会です。当日は、難関である事前の原稿審査を通過した全国から集まった15名前後の高校生弁士によって弁論が行われます。また、個々の弁論後に、聴衆（東海高校生徒、教職員、来賓、一般）から質問を受ける時間もあり、この応答も採点の対象に含まれるという真の実力が問われる審査内容です。

授与式では、永井 紀夫 同窓会事務局長より、「弁論の内容もまさに今の時勢にふさわしいものだと思います。落ち着いて、悔いの残らないよう十分に実力を発揮してきてください。同窓生一同健闘を祈っております。」と温かい励ましの言葉が贈られました。海野さんからは、「これまでの練習の成果を発揮し、応援してくださる皆さんの期待に応えられるよう、精一杯頑張ってきます。」と力強い言葉が述べられました。直江校長からもお礼の言葉と「昨年の大分での大会出場の経験を活かし、実力を存分に発揮してください。」との激励の言葉がのべられました。

同窓会の皆様には、日ごろから多大なご支援をいただき、心より感謝申し上げます。海野さんには、「未来への伝言」が多くの人の心に届くよう活躍してきて欲しいと思います。皆さんも応援よろしく願いいたします。

